

公益社団法人 日本水産学会
令和 2 年度第 2 回理事会議事録

1 開催された日時 令和 2 年 3 月 26 日（木）13 時 03 分～14 時 57 分

2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス
2 号館 200A - 1 および 2（東京都港区港南 4-5-7）

3 理事総数及び定足数

総数 19 名，定足数 10 名

4 出席理事総数 18 名

（上記 2 の会場での出席）

金子豊二，佐藤秀一，中田英昭，舞田正志，吉崎悟朗，和田時夫，
東海 正（報告事項 ① 令和元年第 1 回理事会以降の職務執行の状況
の報告中 13 時 15 分に着席）

（Web 会議システムによる出席）

岡崎恵美子，家戸敬太郎，黒倉 寿，小椋 聡，越塩俊介，高野みゆ
き（旧姓：馬久地），田中教幸，日向野純也，安井 肇，横山芳博，良
永知義

5 出席監事

（上記の 2 の会場での出席） 杉田治男

6 出席幹事

（上記の 2 の会報での出席） 坂本 崇，遠藤雅人，福島英登，矢澤良輔，甘糟和男

7 オブザーバー

（上記の 2 の会報での出席） 小山寛喜，澤山英太郎（庶務幹事候補者），

（Web 会議システムによる出席） 長阪玲子（会計幹事候補者）

8 議 案

決議事項

第 1 号議案 「書籍割引販売の会員への周知」の件

第 2 号議案 「入会承認」の件

報告事項 ① 令和 2 年第 1 回理事会以降の職務執行の状況

② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

佐藤会長が定足数の充足及び Web 会議用装置からなる Web 会議システムにより，出席者の音声，映像が即時に他の出席者に伝わり，出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 令和 2 年度春季大会実行委員長挨拶

佐藤会長の挨拶の後，金子豊二令和 2 年度春季大会実行委員長から，挨拶があった。

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき，佐藤会長が議長となり，本会議の成立及び Web 会議シス

テムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第1号議案 「書籍割引販売の会員への周知」の件

吉崎総務担当理事から、書籍割引販売の会員への周知について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

第2号議案 「入会承認」の件

吉崎総務担当理事から、入会承認について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案を可決した。

(報告事項)

① 令和元年第1回理事会以降の職務執行の状況

・会長

佐藤会長から、水産学若手の会委員会について次の報告があった。

1) 3月27日にWeb会議システムによる第1回委員会を開催し、令和元年度の事業報告、委員の交代、令和2年度の事業計画について話し合われる。特に令和2年度秋季大会における水産学若手の会シンポジウムのワーキンググループの設置が重要な議題となる。

・庶務関係

吉崎担当理事から、令和2・3年度支部幹事の支部長指名について報告があった。

・企画広報関係

金子担当理事 特になし

・財務関係

東海担当理事 特になし

・編集関係

東海担当理事から、次回委員会を3月28日10時からWeb会議システムを利用して開催し、2重投稿の調査報告と対応措置の検討、論文賞の被引用サイト論文表彰について効果も含めて検討する予定であるとの報告があった。

・学会賞関係

良永担当理事 特になし

・シンポジウム関係

横山担当理事 特になし

・出版関係

越塩担当理事 特になし

・水産技術誌監修関係

日向野担当理事 特になし

・国際交流関係

和田副会長及び佐藤会長から、次の報告があった。

1) 業務引継ぎ事項を事務局に提出した。

2) オーストラリアのアデレードで開催予定の世界水産学会議は世界的な新型コロナウイルスの蔓延に伴い、1年延期され、2021年9月末から開催する予定である。

- ・水産教育関係
 - 良永担当理事 特になし
- ・水産政策関係
 - 黒倉担当理事 特になし
- ・漁業・資源管理関係
 - 和田副会長 特になし
- ・水産利用関係
 - 岡崎担当理事 特になし
- ・水産増殖関係
 - 家戸担当理事 特になし
- ・水圏環境関係
 - 中田副会長から、3月26日に第1回水産保全委員会を開催する予定であったが、春季大会の開催中止に伴い、メールでの書面審議を行うとの報告があった。
- ・男女共同参画関係
 - 岡崎担当理事 特になし
- ・社会連携関係
 - 安井担当理事 特になし
- ・将来計画関係
 - 和田副会長から、将来計画について報告書を佐藤会長に提出したこと、また、次期の理事会の中で若手会員への対応について提言したいとの報告があった。
- ・北海道支部，地域連携関係
 - 安井担当理事から、令和2年度秋季大会開催準備状況について、5月末までに相談しながら開催の判断を行うとの報告があった。
- ・東北支部，地域連携関係
 - 田中担当理事 特になし
- ・関東支部，地域連携関係
 - 舞田担当理事 特になし
- ・中部支部，地域連携関係
 - 横山担当理事 特になし
- ・近畿支部，地域連携関係
 - 家戸担当理事 特になし
- ・中国・四国支部，地域連携関係
 - 日向野担当理事 特になし
- ・九州支部，地域連携関係
 - 越塩担当理事 特になし
- ・英文書籍監修委員会（特別委員会）
 - 金子担当理事から日本農学賞を受賞された帰山雅秀会員に総説執筆を打診したが、困難であるとの回答が得られたとの報告があった。
- ・東日本大震災災害復興支援検討委員会（特別委員会）
 - 黒倉担当理事 特になし
- ・財務検討委員会（特別委員会）

東海担当理事 特になし

②その他確認事項

(1) 令和2年度定時社員総会資料の確認

吉崎総務担当理事及び東海財務担当理事から、令和2年度定時社員総会資料の説明があり、令和元年度事業報告及び会計報告、令和2年度事業計画及び予算案、会員に関する規則の一部改正（案）並びに令和2・3年度役員（理事及び監事）候補者（案）を出席理事全員で確認した。

(2) 委任状の回収について

吉崎総務担当理事から、総会に関して正会員数が2,644名で総会の成立条件である過半数の1,323名の出席が必要となるが、3月26日現在提出されている委任状が1,460名分あり、この割合は会員数の55.2%に相当するので現時点で総会が成立する見込みであるとの報告があった。

(3) 次回の理事会について

吉崎総務担当理事から、次回理事会は次期の理事、監事及び幹事の出席のもと、令和2年3月28日15時30分より東京海洋大学品川キャンパスで開催するとの説明があった。本件について質疑があった。

横山理事 「3月28日の総会と理事会へWeb会議システムを利用して参加する場合は別のログインが必要か。」

吉崎理事 「必要であり、別のメールで案内する。」

佐藤会長 「総会時の理事と次回理事会の理事の構成が変わるので別々のログインをお願いします。」

横山理事 「承知した。」

(4) 日本水産学会の将来計画検討へ向けたアンケート調査—調査結果の概要と今後に向けた提言—について

和田副会長から本水産学会の将来計画検討へ向けたアンケート調査—調査結果の概要と今後に向けた提言—について報告があった。また、報告書については佐藤会長に提出したとの報告があった。本件について質疑があった。

中田理事 「本内容について総会の会長挨拶で触れてほしい。」

佐藤会長 「総会の会長挨拶で内容について話させていただく。報告書に関しては学会ホームページに掲載してよいか。」

和田理事 「再度、確認を行って原稿を提出するのでその後掲載を依頼する。」

以上をもってWeb会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、14時57分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上，この議事録が正確であることを証するため，出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和 2 年 3 月 26 日

公益社団法人 日本水産学会
議長 会長（代表理事）

監 事